

まちの「今」をお届けします



パラサイクリング日本代表チーム 東京パラリンピックの事前キャンプ地に決定

市と一般社団法人日本パラサイクリング連盟は、「山陽小野田市におけるキャンプの実施に関する協定」を締結しました。

パラサイクリングは、障がい者の自転車競技で、障がいの種類と度合い、使用する自転車の種類によって種目が分かります。平成27年11月から7回にわたり、山陽オートレース場を練習場所として活用し、同連盟によるパラサイクリングの練習合宿を行ってきました。このたび2020年東京パラリンピックに向けて、本市を継続的にキャンプ地とするため、4月17日、市役所で調印式を行いました。

藤田市長は「市を挙げてパラサイクリングを応援する体制が整いました。パラサイクリングの普及を軸に、障がい者スポーツの振興、障がい者福祉の

充実に力を入れます。パラサイクリングの選手を地元の選手だと思って、市民のみなさんとしてしっかり応援したい」とあいさつしました。

日本パラサイクリング連盟の権丈泰巳理事長は「みなさんの応援が励みになっています。山陽オートレース場は選手の強化練習に最適な場所。東京パラリンピックで金メダルが獲れたと報告ができるよう頑張りたい」と話してくれました。

2020年東京パラリンピックを目指すパラサイクリング日本代表チームを、みんなで応援しよう！

